

学校名： 埼玉県立南稜高等学校

授業者： 千代卓行

教材作成者： 千代卓行

| | | | |
|------------|------------------|---------------|-------|
| 授業日時 | 平成25年 10月17日 (木) | 教科・科目 | 現代文 |
| 学年・年次 | 3学年 | 児童生徒数 | 39名 |
| 実施内容 | 文学解釈「赤い繭」 | 本時／この内容を扱う全時数 | 3・4／8 |
| 教科書及び教科書会社 | 東京書籍『精選 現代文 B』 | | |

授業のねらい（本時の授業を通じて児童生徒に何を身につけてほしいか、この後どんな学習につなげるために行うか）

以下の事項が授業のねらいである。

- ① 1年次からの読解力を総合的に高め、各生徒の読解力にいつそうの磨きをかける。
- ② 「教わる」ことからの脱却、主体的に「ことば」と向き合う習慣を身につけさせる。
- ③ 自己の内面に形成される「ことば」を言語化する力に磨きをかける
- ④ グループ学習を通し、他者とのコミュニケーション能力に磨きをかける
- ⑤ シュルレアリスムの技法で描かれた文学作品に向き合う。
- ⑥ 現代の都市空間で生きる我々人類の本質をさぐる態度を身につける。

メインの課題（授業の柱となる、シグソー活動で取り組む課題）

「おれ」が「赤い繭」になることについて、どのような解釈が可能か。エキスパート活動、本文全体を踏まえて論理的に説明する。

児童生徒の既有知識・学習の予想（対象とする児童生徒が、授業前の段階で上記の課題に対してどの程度の答えを出すことができそうか。また、どの点で困難がありそうか。）

シュルレアリスムの技法で描かれた文学作品を読むのは初めてであるため、表面的な読解に陥ることが予想される。多くの生徒が「何がなんだか分からない」状態となるか、あるいは根拠なき妄想的読みに終始すると思われる。

期待する解答の要素（本時の最後に児童生徒が上記の課題に答えるときに、話せるようになってほしいストーリー、答えに含まれてほしい要素。本時の学習内容の理解を評価するための規準）

「人間疎外」という意味に類した解釈が出来ることが望ましい。しかし、現代社会で人間が苦悩をしている状況が読み取れば十分な評価としたい。

| |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 各エキスパート<対象の児童生徒が授業の最後に期待する解答の要素を満たした解答を出すために、各エキスパートで抑えたいポイント、そのために扱う内容・活動を書いてください> |
| A：「おれ」と「棍棒を持った彼」との関係性を読み取る。「権力を持つ者」と「権力を持たざる者」との関係性を一般化すること。 B：物語全体の構成を理解すること。その中で浮かび上がる「家」というキーワードに気づくこと。 C：「おれ」が「家」をめぐるながらも、悲劇的な結末を迎える物語であること。「おれ」の「理想」は叶えられないという現実を理解すること。 |
| シグソーでわかったことを踏まえて次に取り組む課題・学習内容 |
| 他者の解釈を受け取りながらも、自分の解釈を自分の言葉で表現できること。 |

本時の学習と前後のつながり

| 時間 | 取り扱う内容・学習活動 | 到達して欲しい目安 |
|------|-----------------------------|--------------------------|
| これまで | 本文を読み、「最も強く自分に語りかけてきたこと」を書く | 「最も強く自分に語りかけてきたこと」が記述できる |
| 前時 | エキスパート活動 | エキスパート課題を完成させる |
| 本時 | シグソー活動 | シグソー課題を完成させる |
| 次時 | クロストーク、発表 | 論理的にわかりやすい発表ができる |
| この後 | 教師の解釈を聴き、思考を深める | 教師の解釈が理解できる |

| |
|-----------------------------------------|
| 上記の一連の学習で目指すゴール |
| 卒業後、一人一人が文学に触れる際の、ある一つの思考の枠組みとして機能すること。 |

本時の学習活動のデザイン

| 時間 | 学習活動 | 支援等 |
|-----|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2分 | シグソー活動の班に移動 | |
| 1分 | シグソー活動についての注意点を教師が説明する | 各自、エキスパートで学習した内容を必ず口頭で説明すること。 説明受ける生徒は、ペンをうごかし、うなずく等の反応をすること。 議論は、すべての説明発表が終了してから。 |
| 47分 | シグソー活動 終了 | |

グループの人数や組み方

エキスパート…3人×13班

シグソー…3人×13班